

オール関西でさらなるインバウンドの誘致へ ～関西国際観光推進本部の取り組み～

今年3月、関西の官民が一体となってインバウンド誘致をはかるため、「関西国際観光推進本部」が設立された。関西国際観光推進本部では、当会が主導してきた、関西圏を1枚の交通パスで周遊できる「KANSAI ONE PASS」の試験実施、無料Wi-Fiの環境整備等に取り組むほか、9月には、関西の新たな数値目標を盛り込んだ今後3年間の関西の外国人誘客方策となる「KANSAI国際観光指針」を策定した。こうした取り組みのポイントを紹介する。

関西国際観光推進本部の スタート

2016年3月24日、関西の自治体、経済団体、観光推進団体、およびオブザーバーとして国の出先機関等が集まり、関西国際観光推進本部(以下、観光推進本部)を設立した。

観光推進本部では、関西広域でのインバウンド誘致に向け、リーディングプロジェクトとして位置づけた広域観光周遊ルート「美の伝説」事業の推進、「KANSAI ONE PASS」の試験実施、無料Wi-Fiの環境整備、および海外プロモーション等に取り組んでいる。ほかにも、観光庁の幹部や有識者等を招聘したセミナーを近畿運輸局やアジア太平洋研究所と共催したり、関西国際空港の見学会を開催するなど、構成団体に向けてインバウンド誘致の参考となる情報提供を行っている。



関西国際空港見学会の様子

■「KANSAI ONE PASS」好調な 滑り出し

今年4月、「KANSAI ONE PASS」の試験販売(3万枚)を開始。売れ行きは好調で、8月には3万枚分を増刷した。専用のモバイルサイトを通じた「KANSAI ONE PASS」の満足度に関するアンケート調査では、「大変満足」「満足」の合計が約9割を占めており、利用者から高く評価されている。

引き続き、利用実態等を検証するとともに、来年度からの本格販売に向けた運営体制等の検討を進めていく。

■無料Wi-Fiの環境整備の方針 決定

アプリを利用した認証手続きで一度の認証により関西各地の無料Wi-Fiの利用が可能となる「KANSAI Free Wi-Fi」の実現をめざし、観光推進本部ではこれまで、無料Wi-Fiを運営する自治体に対して協力を呼びかけるなどしてきた。

関西広域連合においても、6月の関西広域連合委員会で、アプリを活用した同一の認証連携方式の導入を決定した。官民が連携して準備を進め、10月には、「KANSAI Free Wi-Fi」の運用を開始する。

■海外プロモーションの実施

海外旅行博への出展にも積極的に取り組んでいる。今年5月に中国で開催された「上海世界旅行博覧会」、6月に韓国で開催された「ハナツアー旅行博覧会」、8月にシンガポールで開催された「Travel Revolution」に出展。抹茶づくり体験等を通じて、多種多様な魅力が凝縮された「KANSAI」の情報を広く発信した。

9月には、台湾において、関西の各府県、観光協会および事業者等が現地の旅行会社と商談する「台湾大商談会」を実施。今後も、アジアや欧州等の旅行博に出展しPRしていく。



上海世界旅行博覧会での出展の様子

**「KANSAI国際観光指針」の策定
～2020年 訪日外国人訪問率45%
旅行者数1,800万人をめざして～**

今年9月には、観光推進本部が

2016年から2018年までのおおむね3年間の訪日外国人誘客方策となる「KANSAI国際観光指針」を取りまとめた。指針では、「アジアの観光・文化首都をめざす」「『KANSAI』ブランドを構築する」「快適な旅行環境を提供する」「観光資源を発掘・活用し、磨き上げる」「スポーツイベント(ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスターズゲームズ2021等)と連動する」の5つの外国人誘客の方向性を打ち出し、関西の官民が連携して取り組んでいくこととした。

加えて、観光に関する関西の新たな数値目標を設定。2015年2月に当会が策定した「関西広域観光戦略」では、2013年時点で33%だった外国人旅行者の関西訪問率を2020年に40%まで高め、関西への旅行者数を800万人に伸ばすといった目標を設定したが、早くも2015年に関西訪問率40%を達成した。今回の指針では、訪問率の目標を45%まで引き上げ、1,800万人の旅行者数をめざす目標を掲げた。このほか、関西における、外国人延べ宿泊者数を3,700万人泊に、訪日外国人旅行

消費額を3兆円にするとの目標を設定した。

さらに、足元の訪日客の状況をふまえ、重点的に誘致を進める市場を「戦略強化市場」「成長市場」「再訪市場」の3つに分類した上でターゲットとする国を定め、国別に数値目標や戦略を策定した。

今後、指針に基づき、府県の枠を越えたオール関西での官民の取り組みを加速させる。

(産業部 中西康真)

〈「KANSAI国際観光指針」の概要〉

◎誘客方策の5つの方向性

1 世界におけるアジアの観光・文化首都をめざす

2 官民一体、オール関西で行動し、「KANSAI」ブランドを構築する

- ① 知名度の高い地名と「KANSAI」とをあわせたブランドを発信
- ② 知名度の高い地域から周辺地域への誘客促進により関西各地域の知名度を向上

3 快適な旅行環境を提供する

- ① 多言語対応やWi-Fi環境の改善等、受入環境を整備
- ② 回遊性の向上と滞在先での消費促進に向け、「配送サービス」「荷物一時預かり」といった事業を検討
- ③ 関西全体での外国人のおもてなし態勢を強化(多言語対応可能な施設・店舗の明示等)

4 多種多様な観光資源を発掘・活用し、磨き上げる

- ① 文化、商業、自然、産業といったテーマや、季節ごとに観光資源を細分化
- ② 身近な資源の観光コンテンツ化(アニメ・マンガといった現代文化ツアーや工場見学等のインダストリアルツアー等)
- ③ 各国でのニーズを迅速かつ的確に把握
- ④ インバウンド市場への参入の好事例を関西各地へ発信し、地域産業の活性化を促進

5 大規模な国際スポーツイベントと連動する

- ① カルチュラルオリンピアド*等、外国人観光客誘致施策の実施
- ② 日本を旅行中の外国人観光客向け小旅行の商品化促進(文化行事等を盛り込んだカルチャーツアー等)
- ③ 野球・サッカー等の観戦、マラソン・自転車・登山といったスポーツツアーの推進

*オリンピック・パラリンピックの開催国で行われる文化・芸術に関わるパフォーマンス、展示および伝統的スポーツ等のこと

◎数値目標

	2015年(実績)	2020年(目標)
関西への訪日外国人訪問率	40.0%	45.0%
・ 関西への訪日外国人旅行者数	約790万人	1,800万人
・ 関西での外国人延べ宿泊者数	1,592万人泊	3,700万人泊
・ 関西での訪日外国人旅行消費額	約1兆3,900億円	3兆円

◎国別の戦略

■戦略強化市場(欧米とは異なる日本文化等を中心に情報発信)

対象国: 英国、ドイツ、フランス、オーストラリア、米国、カナダ、イタリア、スペイン

■成長市場(市場の嗜好に応じた観光コンテンツを情報発信)

対象国: タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、フィリピン、インド、ロシア

■再訪市場(リピーターを主眼に関西の流行を常に情報発信)

対象国: 韓国、中国(特に個人旅行対策を強化)、台湾、香港